

岡部進の「生活数学」シリーズ 好評発売中

発売元&問合せ：ヨーコインターナショナル（前田） T&F：03-3299-7246

<http://www.yo-club.com> <http://okabesusum.exblog.jp/> 151-0061 東京都渋谷区初台1-50-4

お近くの書店に無くても取寄せを依頼して下さい。無理な場合、直接対応致しますので、問合せ下さい。《注文書は、HPよりダウンロード出来ます》 シリーズ本ですので、可能であれば全冊一括購入頂けますと、より著者の思想をご理解頂けます。

著者の主張から

- ・数学は生活の中にあり！
- ・生活に役立つ数学こそ、数学の学び方のスタート！
- ・企業は生活数学が使える人を求めています！
- ・「西洋数学」摂取以来130年の歳月、いまこそ生活に数学を！

手にとって読み易い
B6版サイズ、ソフトカバー

日本教育新聞社のHPに紹介文掲載。
「日本理学書録目録2011」に掲載

 <p>「生活数学」のすすめ 元日本大学教授 岡部 進 著</p>	<p>1. 「生活数学」のすすめ 205頁 2,000円 (税別、以下同じ) 書籍コード：ISBN978-4-9904507-2-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数学を必要としている主婦たちへ ○数学で困っている会社員たちへ ・生活数学のすすめとは—— <ul style="list-style-type: none"> ・テレビニュースやチラシの中の数学 ・量で見る（ハワイ・マウイ島の生活） ・数で見る（江戸時代の数学） ・式で見る（確定申告の決まり） ・図表示・比率・頻度率で見る（時系列データ） ○「生活数学」の学び方——小・中・高・大学生・会社員・主婦へ
 <p>日常素材で数学 元日本大学教授 岡部 進 著</p>	<p>2. 日常素材で数学する 241頁 2,000円 書籍コード：ISBN978-4-9904507-1-7</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活資料で数学する楽しさと喜びを！ ・生活資料とは—— <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ・テレビのニュース ・食材チラシ・万歩計・牛乳瓶・風景・牛乳パック・時系列データ ・位置の表現・「から、まで」の表現のいろいろ ・「ベクトル」概念・線対称図形・「空間図形」など ・時系列データを学校数学へ ○パソコンを使い、インターネット情報を活かして数学する S大学の課題学習図書に採用されるなど、テキストとしても読まれている。
 <p>算数・数学への疑問から 元日本大学教授 岡部 進 著</p>	<p>3. 算数・数学への疑問から 221頁 2,000円 書籍コード：ISBN978-4-9904507-3-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中・高校生の素朴な質問 ・数学は「考える訓練」なの？ ・算数・数学ではどんな道具を使うの？ ・数学を生活に使うってどんなこと？ ・生活数学って？ ○算数・数学が好きになりたいの？——小・中・高校生の願いの実現へ、その方策とは？
 <p>「洋算」摂取の時代を見つめる 元日本大学教授 岡部 進 著</p>	<p>4. 「洋算」摂取の時代を見つめる～福澤・呉・藤澤・小倉に学ぶ 284頁 2,500円 書籍コード：ISBN978-4-9904507-0-0</p> <p>明治時代の数学の世界に目を向けて、福澤諭吉、呉文聰（あやとし）、藤澤利喜太郎、小倉金之助など、現在の日本の数学・統計学・国勢調査の礎（いしずえ）となった人達の足跡・歴史を、詳細に記している貴重な書。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福澤諭吉と世界国勢統計との出会い ○官僚・呉文聰の目指す国勢統計 ○数学者藤澤利喜太郎の算術観 ○数学者小倉金之助の「数学の大衆化」運動 ○「学制」（明治5年）の算術に見るアメリカの影響 ○20世紀初頭の世界的な数学教育改造運動と中等教育数学の改革とは？
 <p>生活幾何へのステップ ——形からの出発—— 元日本大学教授 岡部 進 著</p>  <p>ここにも生活数学 元日本大学教授 岡部 進 著</p>	<p>5. 生活幾何へのステップ～形からの出発 231頁 2,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「線画」に託した願いは？——ハワイ・マウイ島の「ペトログリフ」 ○「形（かたち）」——美への、また構造への関心 ○「幾何って何？」——中学生からの疑問 ○「堅実なアメリカの高校幾何」——アカデミックさに学ぶ ・エリート層への通路か？日本の学校幾何への疑問 ○「形」の変形——「形」の変形は簡単だよ！どうして、エクセルで？ ○階段と並置のスロープをめぐって——バリアフリーの今 ・スロープの表現、弧度法、「道路勾配」って？和洋屋根の勾配は？ ○「形」が数式になった時——デカルトの目覚めの究極か！ ・直線・半直線・線分・半平面・角・三角形・長方形も数式で表わせたよ？ <p>書籍コード：ISBN978-4-9904507-4-8</p>
 <p>ここにも生活数学 元日本大学教授 岡部 進 著</p>	<p>6. ここにも生活数学 230頁 2,000円 書籍コード：ISBN978-4-9904507-5-5</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カード決済の生活、はたして計算が楽になったか？

	<p>○品質が量化されて数学の対象になるってどんなこと？ ○演繹的議論をしようよ！ ○身の回りには近似値ばかりとっていいの？ ○並べると分けるって？ ○蓋然的現象に目を向けて</p>
	<p>7. 生活文化と数学 237頁 2000円 書籍コード：ISBN978-4-9904507-6-2 本書では、日々の生活に根ざした文化に光を当てて、そこに見られる数学を浮き彫りにすることを狙っている。 ○異文化を数学の目でとらえる ・失われたハワイオールド文化の歴史 ・文化の再生と継承——ハワイ州のフラとペトログリフから ○生活スタイルに見られる数量文化 ・生活が生み出す文化現象——トルコ絨毯、ハワイ・マウイ島の買物風景 ・日本の数量文化って何——四季と祭り、信仰、縦書き表現、尺貫法とそろばん ・文化の形成とは——三人の画家と絵画サロンを通して ○数値文化の諸現象 ・数値文化とは ・固有な数値と固有でない数値 ・人間ドラマを生み出す変動数値 ・「格安文化」現象 ○変動数値に強くなる ・捨てられてしまうレシート ・時の流れのなかの変動数値 ・時系列変動数値の扱い方</p>
	<p>8. 競(きそ)う現象と生活数学 260頁 2000円 書籍コード：ISBN978-4-9904507-7-9 競い合いの文化に焦点をあてて、さまざまな「競争」「競走」を取上げ、数学の目で捉えた書である。 ○競走現象 ・運動会や競馬など番号付け現象をテーマに ○巷の「いろいろに速い」の表現 ・新幹線や路線バスなど速い体感をテーマに ○自動車の速度って？ ・交差点の曲り角に立って見た自動車など平面上の速度表現をテーマに ○競争表現のさまざま ・骨董ショーや自動車など競い合う現象をテーマに ○競争の表現 ・ランチメニュー立て看板、路上弁当屋などの販売表現に注目して ○品質への競い合い ・店頭に並ぶ野菜、果物など品質や販売のデータ解析をテーマに</p>
	<p>9. まわるとくくりの数学 247頁 2000円 書籍コード：ISBN978-4-9905889-0-8 「まわる」と「くくり」に焦点をあてて、そのさまざまな現象を数学の目で捉えた、ユニークさがますます冴えわたるシリーズ9冊目の書である。 ○一つ括りの繰り返し現象 ○「カレンダー」方式ってどんな数学なの？ ○回転利用に目を向けて ○観覧車の動きを追う ○回転から直線運動へ—変換装置の実際 衣食住にかかわる場面をみると、日常生活には回転運動を利用した施設や道具が多い。一方また一つ括りにして繰り返すような発車時刻表や劇場座席などは利用者にとって都合がよい。こうした周期をとまなう「まわるとくくり」には三角比と三角関数が深くかかわって上手く利用されている。こうした数学に目を向けたのが本書である。</p>
	<p>10. 集めてはかる数学 241頁 2000円 書籍コード：ISBN978-4-9905889-1-5 ものの広がりやかさ、重さ(質量)などは、「集める」ことで「はかる」ことができる、という場面はよく見受けられる。もちろん、数学にも、こうした場面がある。さて、どんなところに？三千丈生活のさまざまな現象を捉えるユニークな数学の目は本書でも冴える！ ○集める形態のいろいろ ○集めてはかるって？ ○データを集めることから見えてくるもの ○みじん切りにして集める—「不可分の量」という発想 ○プリミティブ関数の働き—積分概念の深化</p>
	<p>※1. 好奇心のヒント... 数値文化を考える... 171頁 840円... (四六版)... 毎月発行中のメールマガジン1号から16号までに掲載したものをまとめた本。数値文化を考えるきっかけに。 書籍コード：ISBN978-4-9904507-7-9</p>

※個人の方へ：学割有り・学校テキスト採用の場合、特典有り、ホームページにて案内中、または問合せ下さい
 ※書店様へ：取次店は地方小出版流通センターです。弊社直をご希望の場合はお問合せ下さい。(03-3299-7246)
 ※メールでの問合せは、ホームページ画面下段にメールアドレス・クリック個所があります。

..... 注文書

タイトル名または上記番号 _____

合計 _____ 冊

名前 _____ (連絡先電話番号) _____

_____ (" FAX 番号) _____

_____ (Mail) _____

送付先住所 _____